

令和 5 年度(2023 年度)
第 2 回熊本博物館協議会

令和 6 年(2024 年)3 月 26 日(火)午前 10 時

熊本博物館

議事 令和6年度事業計画について（案）

1. 展示活動	・ ・ ・ ・ ・ P 1
2. 博物館における教育・普及活動	・ ・ ・ ・ ・ P 4
3. 保存修復事業	・ ・ ・ ・ ・ P 9
4. 施設整備事業	・ ・ ・ ・ ・ P 9
5. 塚原歴史民俗資料館関係	・ ・ ・ ・ ・ P 10

1 展示活動

(1) 特別展

①熊本博物館夏季特別展「たねのはなし」

【目 的】 一度発芽すると自力で動くことのできない植物にとって、種子の状態は唯一移動可能な時期である。その形状や散布方法は非常に多様で、あらゆる工夫や仕掛けがあり、植物が生き残るための「知恵」が詰め込まれている。本展は国内外の種子標本の展示により、植物の生存戦略やその多様性について紹介する。

【内 容】

- ・タネについて ・タネのいろいろな散布方法を紹介 ・タネの利用
- ・タネの休眠と寿命 ・身近な植物のタネ ・世界のタネいろいろ
- ・ドングリコーナー・オナモミダーツ

【会 場】 特別展示室 1・2・3

【期 間】 令和 6 年 7 月 13 日（土）～ 9 月 1 日（日）(45 日間)

(2) 企画展・共催展

①企画展「資料保存の世界—未来へつなぐ文化財の裏側—」

【目 的】 博物館は調査研究・展示・教育普及という役割に合わせて、管理・保存としての側面も合わせもつ。人文資料、自然史資料を収蔵する総合博物館として、資料の展示・活用に様々な取り組みが行われる一方で、多面的な角度から受ける影響も考慮しなければならない。

本展覧会では、科学的に見た資料の調査結果や保存処理・修復の工程、劣化要因などに注目し、対象となる資料と保存に関する道具を展示することで文化財保護の裏側について紹介する。

【内 容】 博物館が資料を保存するうえで気を付けていることや、家庭等でも気を付けるべきことなど幅広く紹介する。

- ・文化財の科学的調査とは ・資料の保存処理・修復 ・文化財害虫と被害資料
- ・資料保存環境調査

【会 場】 特別展示室 1・2

【期 間】 令和 6 年 3 月 9 日（土）～5 月 12 日（日）

②企画展 収蔵名品展「かがやけ くまはくの刀と絵画」(仮)

【目 的】 熊本博物館は、2022年に創立70周年を迎えた。現在、全分野合わせて15万点を超える資料を収蔵している。数多くの資料がある一方で、常設展示室以外でこれらを一堂に公開する機会はなかなかない。美術工芸分野では2015年度より収蔵品の悉皆調査を進めており、これまでに陶磁器、刀剣、絵画を整理している。これらの成果をふまえて「熊本博物館にはどんな資料があるのか」を紹介し、「熊本博物館の宝」として多くの

人に伝える。

【内 容】

特展室1「かがやけ 刀」

刀（九州肥後同田貫兵部/慶長三年八月日）、太刀（国時）ほか

特展室2「かがやけ 絵画 その1」

矢野良勝《五老ヶ瀧》、伝矢野吉重《牧馬図》屏風ほか

特展室3「かがやけ 絵画 その2」

近藤樵仙《加藤清正像》、熊本市指定文化財《加藤清正像》ほか

【会 場】 特別展示室1・2・3

【期 間】 令和6年10月4日（金）～ 12月15日（日）（日程調整中）

前期：10月4日（金）～ 11月10日（日）

後期：11月12日（火）～ 12月15日（日）

③企画展「熊本市下の精霊流し ― 慰霊と観光のはざま ―」（仮）

【目 的】 本展示は令和5年度から令和6年度にかけて行った県下の精霊流しに関する調査・研究に基づいた企画展。精霊流しは盆の最終日に行われる精霊送りのひとつの方法として知られ、かつては県下で広く、かつ大規模に行われていたが、現在はその伝承を確認できるところも限られつつある。本展では県下の精霊流しの近代における変化を取り上げながら、慰霊と観光のはざまで揺れ動く近代以降の民俗行事を通して、民俗行事を継続するとはどういうことかを来館者に考えていただくことを目的のひとつとする。

【内 容】 県下各地の精霊船、県下各地の精霊流し関係の写真パネル など

【会 場】 特別展示室1・2・3

【期 間】 令和7年3月25日（火）～ 6月1日（日）（日程調整中）

④共催展「いきものフェアくまもと 2024」

【目 的】 生物多様性について楽しく学べる参加型・体験型のプログラムの実施を通して、私たちの暮らしが生物多様性に支えられていることや生物多様性を守ることの大切さを知り、市民自らが行動するきっかけを提供する。

【内 容】 生物多様性の日イベントとして熊本市動植物園にて開催
（熊本博物館・動植物園・環境総合センター・環境政策課）

【会 場】 熊本市動植物園

【期 間】 令和6年5月25日（土）、5月26日（日）※日程調整中

⑤共催展「熊本市遺跡発掘速報展」

【目 的】 最新の熊本市内の発掘調査成果の公開

【内 容】文化財課との共催。近年に発掘した遺跡の出土遺物や解説パネルの展示を行う。

【会 場】特別展示室 3

【期 間】令和 7 年 1 月 11 日（土）～3 月 9 日（日）※日程調整中

（3）その他の展示会

①「肥後しゃくやく展」

【目 的】栽培者はわずか数名で、一般の方が鑑賞できる機会は少ないため、熊本の伝統園芸として、広く知っていただく貴重な鑑賞の機会とする。

【内 容】肥後しゃくやくの切り花を展示

【会 場】塚原歴史民俗資料館

【期 間】令和 6 年 5 月初旬を予定

②「肥後朝顔 秋の展示会」

【目 的】肥後六花の一つである肥後朝顔を一般の方々に鑑賞していただき、伝統園芸として広く伝え、普及・啓発を図る。

【内 容】肥後朝顔涼花会が栽培した肥後朝顔を展示。

【会 場】水前寺成趣園 古今伝授の間

【期 間】令和 6 年 9 月 6 日（金）～8 日（日）

（4）プラネタリウム関係

①プラネタリウム投映

【目 的】星や星座、惑星などについて学ぶ機会を提供するとともに、天文・宇宙に関する情報発信を行う。

【内 容】

①天文・宇宙に関する様々な話題を紹介する一般投映番組とともに、スタッフの解説による星空案内を行う（投映日の夜空等）。

②幼稚園・保育園・こども園・小中学校の団体向けに、各学年の学習内容に応じた投映・解説を行う。

③幼児投映・家族向けのファミリーアワー、特別投映、聴覚障がい者向けの「字幕付きプラネタリウム（年度内に 4 度開催）」等を実施する。

【期 間】令和 6 年度（通年）

②天文講演会

【目 的】天文・宇宙に関する最新の話題や、参加者の興味・関心を高める天文関連の内容にふれる機会を提供する。

【内 容】天文・宇宙分野において第一線で活躍されている研究者、プラネタリウムや天文分野に詳しい方を講師として招き、天文学の新知見・不思議さ・楽しさ・奥深さ等について講演いただく。

【期 日】令和 6 年度は 1 回実施予定（令和 5 年度同様） ※日程調整中

③プラネタリウム特別投映

【目 的】天文・宇宙に関する最新の話題や、参加者の興味・関心を高める天文関連の内容にふれる機会を提供する。

【内 容】天文・宇宙分野において第一線で活躍されている研究者、プラネタリウムや天文分野に詳しい方を講師として招き、天文学の新知見・不思議さ・楽しさ・奥深さ等について講演いただく。

【期 日】令和 6 年度は 1 回実施予定（令和 5 年度同様） ※日程調整中

④字幕付きプラネタリウム

【目 的】聴覚に障がいのある方など、より多くの方々にプラネタリウムを楽しんでいただけるよう、音声だけではなく、字幕でもでも解説を行う「文字で楽しめる」プラネタリウム。

【内 容】一般投映番組の字幕付き投映

【期 日】令和 6 年度は 4 回実施予定 ※日程調整中

2 博物館における教育・普及活動

（1）講座・教室・イベント関係

①保存科学講座

【目 的】室内講座や解説を通して保存科学の概要を知ってもらい、文化財の保存に対する興味・関心を高める。

【内 容】令和 6 年度は 5 月～翌年 3 月まで奇数月に実施。全 6 回。

②植物学講座

【目 的】室内解説や野外観察を通して植物について学び、身近な自然に対する興味・関心を高める。

【内 容】令和 6 年度は 8 月～12 月まで実施。全 5 回。室内学習や野外での観察会など。

③地質学講座

【目 的】化石・岩石・鉱物等、熊本博物館の地質資料や大地に関する普及・啓発を図る。

【内 容】令和 6 年度は 6 月～翌年 2 月までの偶数月に実施。全 5 回。各回テーマを設定し、室内学習を行う。

④くまはくの ゆるゆる美術部

【目 的】熊本市域の美術品等について、関心を持つきっかけ作りを行う。

【内 容】令和 6 年度は、6・10・3 月（全 3 回）。室内講座と見学会を実施予定。

⑤古文書講座（実践編）【新規】

【目 的】古文書の読解に関する室内学習。古文書に関する興味・関心を高める。

【内 容】令和 6 年度は 5 月～翌年 3 月までの奇数月に実施。全 6 回。

⑥自由研究相談会

【内 容】動物・植物・岩石・化石・理科実験・科学工作・天文などのテーマを中心に、小中学生を対象とした夏休みの自由研究の進め方や標本の収集方法、調べ方、まとめ方などについての助言を行う。

【期 日】テーマ設定：7 月、まとめ・標本同定：8 月 ※日程調整中

⑦「GW！大型連休はくまはくへ」

【目 的】学芸員・研究員の専門性を活かし、GW 期間中に多様なイベントを開催し、博物館活動の多面的な魅力を伝える。

【内 容】各学芸員・研究員（各部門）の専門性を活かしたイベント・教室等を行う。

【期 間】4 月 27 日（土）～5 月 6 日（月・振）までの土・日・祝日：7 日間実施予定

⑧「くまはく誕生月間イベント（2 月）」

【目 的】昭和 27 年（1952）年 2 月 4 日に開館した熊本博物館の誕生月にちなみ、2 月の土・日・祝日に各種イベントを開催することで当館への市民の関心を高めるとともに、博物館活動の多面的な魅力を伝える。

【内 容】各学芸員・研究員（各部門）の専門性を活かしたイベント・教室等を行う。

【期 間】令和 7 年 2 月：土・日・祝日の予定 ※日程調整中

（2）学校教育支援事業

①ゲストティーチャー派遣授業（お出かけ事業）

【目 的】博物館が有する価値ある収蔵資料及び学芸員・研究員の専門知識や技能を学校の授業に活用し、子どもたちの学習意欲や問題解決能力の向上に寄与する。

【内 容】主に小学校「社会科・理科」の授業を中心に、学芸員・研究員をゲストティーチ

ヤーとして派遣する。各分野の専門性や所管資料を生かし、実施可能な範囲で担任の指導を補佐しながら学習内容の充実を図るとともに教育効果を高める。派遣授業の内容を、タブレット端末のアプリ（Zoom）を活用して遠隔で行うなど、今後も感染症の流行状況や学校からの要請を考慮して取り組む。

※令和 6 年度中に「派遣授業プログラム集」を改定・配布する予定。

※小学校・中学校の共通題材として、総合的な学習の時間や、その他の教科等での派遣もあり。

【対象者】主に熊本市内の小中学校の児童・生徒・教職員（92 小学校、42 中学校）

【期 間】令和 6 年度（通年）

②学校 PTA 活動支援/社会教育施設開催講座協力

【内 容】自然科学への興味・関心を高めることを目的とした学年・学級 PTA 活動や公民館講座などに講師として参加。内容の充実及び活動目的達成のための支援を行う。

※こども科学・ものづくり教室で行っている科学実験・科学工作の中からいくつかの題材を選んで提供し、共に活動を楽しむ。

【対象者】主に小・中学生

【期 間】令和 6 年度（通年）

③館内学習支援活動（お迎え事業）

【目 的】「館内学習プログラム集」を活用し、学校団体利用時のオリエンテーション等において、館内展示資料の価値や魅力を紹介することで座学後に行う館内見学（学習）への興味・関心を高める。

【内 容】オリエンテーションの際に、館内展示物の価値や魅力を紹介し、館内見学への期待感を高めるとともに見学の視点を与える。団体予約時に館内学習プログラム集の中から 1～2 題材（1 題材：15 分間程度）を選んでもらい、要請に応じて実施。

※令和 3 年度に「プログラム集」を改定。令和 7 年度に再改定・配布予定。

【対象者】小中学校団体全般（市内・外）

【期 間】令和 6 年度（通年）

④博物館・スクールシャトルバス事業（お迎え事業）

【目 的】小学校で社会科・理科学習がスタートする中学年（3 年生または 4 年生）の子どもたちをメインターゲットとしながら、広く小中学校の児童・生徒を対象に参加希望を募り、予算の範囲内で当館や塚原歴史民俗資料館に招待し、未知・既知の学習資料の価値や魅力に触れる機会を提供することで、新たな学びへの興味・関心を高める。

【内 容】上記の目的を達成し、併せて学校教育支援事業（博学連携）強化の一助とする

ため、学校と当館・塚原歴史民俗資料館を結ぶスクールシャトルバスを借り上げて運行。館内スケジュールについては学校と相談して決定するが、基本的にはプラネタリウムの学習投映、館内学習プログラム体験（1～2本）、館内展示物見学などを盛り込んで実施する。塚原では古墳見学や勾玉・編布づくりなどの体験活動も行う。

【対象者】 熊本市立小中学校：全 13 校程度（児童・生徒・教職員）

【期 間】 令和 6 年度（通年）

⑤教職員研修等への協力支援（主催・参画・協力等）

【目 的】 学校教育支援事業を補完する諸活動を実施し、博学連携の一層の充実を図る。

【内 容】 教職員としての資質・能力の向上に資するための協力支援を行う。

- ・夏季休業中の教職員研修講座「館内学習プログラム解説編」
- ・小中学校「理科実技研修会（講習会）・巡検会」
- ・指導課・教育センター等主催講座への協力
- ・教科等主任会（理科主任会等）からの要請講座
- ・教職員（及び中学生・高校生）の社会体験研修受け入れ
- ・教員のための博物館の日（※）実施協力

※博物館活動に親しむ機会を設け、博物館の資料や事業は「授業に活用できる貴重な学習指導の資源」であることを体験的に伝える。

- ・その他、上記の目的に沿う活動への協力

【対象者】 教職員

【期 間】 令和 6 年度（通年）

⑥熊本エデュケーションウィーク（KEW）での「博学連携事業の紹介動画」制作及び配信

【目 的】 当館が行っている「博学連携事業」の一端を、学校関係者、社会教育関係者、児童・生徒・保護者、一般の方向けに広く周知する。

【内 容】 令和 2 年度から「豊かな人生とよりよい社会を創造するために自ら考え主体的に行動できる人を育むとして」熊本市教育委員会が主体となって始めた取組で、当館は令和 3 年度より参画。過年度は、館内での学習支援活動の様子、ゲストティーチャー派遣授業の様子、それらに関連した Zoom による遠隔授業・遠隔解説、オンライン学習支援の取組、教職員研修講座・中高生の職場体験事業・大学生の博物館実習等について紹介。昨年度と令和 6 年度は、子どもや保護者を対象とした「参加・体験型イベント」を 2 カ年にわたって紹介する。（昨年度が Part.1 で令和 6 年度分が Part.2）

【対象者】 学校関係者、社会教育関係者、児童・生徒・保護者、一般の方

【期 間】 令和 6 年度（R7 年 1 月下旬が KEW 期間：予定）

⑦こども科学・ものづくり教室

【内 容】主に小中学生を対象に「科学実験や科学工作」などの直接的な体験活動を通して身の回りの自然事象に対する興味・関心を高め、楽しく活動しながら科学の原理や技術（歴史や文化に関する内容も一部含む）について学ぶ機会を提供。

※子どもの心に不思議の種（ふしぎだね）を蒔く。色と光、振動と回転、空気と真空、電磁気、力学などをテーマとした科学実験・科学工作のほか、他分野の学芸員との連携による内容の充実を図る。また、大学や高専、教育サークル、NPO 団体との協働イベントも実施し、より魅力的な運営を行う。

【対象者】主に小中学生

【期 間】令和 6 年度（通年：年間 25 回以上）

⑧こども自然学び教室

【内 容】自然系を中心に、地質・植物・動物分野の学芸員による体験型の学習教室。

・家族みんなで安心して参加できる室内体験教室

場所：実験・工作室及び講堂

内容：動物（ちりめんモンスターをさがせ）、植物（草木染体験）、地質（古生物のクリスマスツリーかざりを作ろう）等

・フィールドに飛び出して本物に触れよう！野外観察会

場所：江津湖、立田山、上天草市等

内容：動物（生き物観察会）、植物（植物観察会）、地質（化石観察会）等

【対象者】主に小中学生

【期 間】令和 6 年度（6 回実施予定）

（３）博物館実習受け入れ

①博物館実習

【目 的】博物館は、学芸員をはじめとする博物館に関わる人材を育成する責務を有しており、職員自身も実習生の指導を行うことで、学芸員としての基礎・基本を再確認できる。このような実習受け入れを通して、当館の質の向上につなげるもの。

【内 容】文部科学省作成の「博物館実習ガイドライン」に基づき、実習生を受け入れる。

・実習生は公募受付け

・当館の実情を踏まえたカリキュラムを作成

・評価項目は「出席状況」「実習態度」「理解・知識」「能力」「実務状況」

・実習期間は 8 月下旬（6 日間）

・受け入れは自然系 10 名、人文系 8 名（合計 18 名の予定）

3 保存修復事業

①熊本博物館屋外展示 SL アスベスト飛散防止状況調査

【目 的】2021 年 4 月の「大気汚染防止法」の改訂に伴い、SL の蒸気機関部分の断熱材に含まれるアスベストの飛散状況等を検査し、必要な飛散防止対策を講じる。

【内 容】配管部や前面蓋部に塗布されていたと思われるアスベストの現状を点検するとともに、機関車周辺の空気環境調査も実施する。アスベスト含有部については飛散防止のための対策に活かす（除去・塗料で硬化等）。

②所蔵絵画資料修復業務委託

【目 的】経年劣化等により破損した当館蔵の絵画資料（熊本城からの展望図）を修復する。

【内 容】経年劣化やリニューアル前の収蔵環境等により破損した絵画を修復し、調査研究・展示に耐えうる状態に戻す。

4 施設整備事業

①収蔵庫の状況と今後の取組について

【目 的】今後の資料収蔵について、様々な視点で検討を行うもの。

【内 容】現在の収蔵庫は、資料収集方針で収蔵庫容量が約 2 年延命、資料整理方針で収蔵庫容量を約 12 年延長、外部倉庫の活用で収蔵庫容量を約 11 年延命できることとなり、約 25 年延命でき、かつ約 25 年間は文化庁等の指針に基づいた適正な資料保管状況を確保することが可能である。但し、収蔵庫には限度があるため以下のとおり、取り組んでいく。

- ・ R5.10 に策定した「熊本博物館資料収集方針」を基に、寄託品の返却及び既存資料を整理することで保有資料の縮小化を図り、かつ、寄贈受入を厳格に対応することで資料増加を抑制する。
- ・ 敷地外収蔵庫の活用方策について、調査・検討を進める。
- ・ 資料収蔵活動は博物館活動の一環として継続していくため、収蔵庫の新築や改修等の事業計画を再度検討し、事業化を目指す。
- ・ R6 以降は、プレハブ収蔵庫の改築計画と合わせて、館内収蔵庫の空調改修など、様々な視点での検討を行い、順次計画的に環境改善を図っていく。

5 塚原歴史民俗資料館関係

(1) 展示活動（企画展等）

①企画展「世界の昆虫展 in 塚原」

【目 的】熊本博物館が所蔵する世界の昆虫標本等の展示を行い、普段見ることのできない昆虫への理解を深める。

【内 容】世界各地の昆虫標本やカブトムシ、クワガタ等の生体を展示する。

【期 間】令和6年8月11日（日）～8月18日（日）（日程調整中）

②企画展「宇城の窯跡」(仮)

【目 的】旧城南町をはじめとする宇城地域には古代の窯跡が点在している。関連する館蔵品と窯跡から出土した資料を紹介する。

【内 容】出土資料及び窯跡紹介のパネル等を展示する。

【期 間】令和6年10月29日（火）～12月22日（日）（日程調整中）

③パネル巡回展「Kid's 考古学新聞コンクール全国巡回展」(仮)

【目 的】こどもたちが歴史や文化に対する関心を深め、郷土を大切に思う気持ちを育てることを目的とする。

【内 容】Kid's 考古学研究所が主催する「Kid's 考古学新聞コンクール」で入賞した作品を展示する。

【期 間】令和6年9月29日（日）～10月27日（日）（日程調整中）

(2) 資料館における教育・普及活動（講座・教室等）

①考古学講座

【目 的】講義を通して、学ぶ楽しさや考古学への興味をもってもらい、身近にある文化財への関心を持ってもらう。

【内 容】考古学の成果をもとに、毎回違ったテーマで講義を行う。年10回開催。熊本市文化財課・周辺市町村の職員にも依頼し、最新の発掘調査成果等の話も織り込む。

【期 間】令和6年5月～令和7年2月（日程調整中）

②古文書講座

【目 的】古文書の解読を通して時代背景を知り、歴史のおもしろさを探っていく。

【内 容】館外講師に依頼して実施。年間テーマに沿って、古文書の解読や時代背景について学ぶ。年10回開催。

【期 間】令和6年5月～令和7年2月（日程調整中）

③塚原こども体験塾

【目 的】様々な体験を通して、先人のものづくりを学びその素晴らしさを実感する。

【内 容】塚原歴史民俗資料館及び熊本博物館の学芸員が講師となり、ワークショップ形式の様々な体験プログラムを実施する。年 10 回開催。

【期 間】 令和 6 年 5 月～令和 7 年 2 月

④各種体験教室（土器づくり・勾玉づくり・埴輪づくり・古代織づくり・編布づくり・藍染 等）

【目 的】各種の体験を通して、考古や歴史、民俗の分野に興味を持ってもらうとともに、先人の素晴らしい技術を理解してもらう。

【内 容】熊本市に所在する資料などを基に作成した体験道具を使ったモノづくりや昔遊び及び伝統的手法を体験する。

【期 間】 令和 6 年 5 月～令和 7 年 3 月（日程調整中）

R5年度第2回熊本博物館協議会

R6年3月26日（火）10：00～ 熊本博物館 講堂

No	区 分	氏 名	氏名（カナ）	所属団体・役職等
1	学識者	松下 純一郎	マツシタ ジュンイチロウ	熊本県文化協会 副会長
2	学識者	鈴木 寛之	スズキ ヒロユキ	熊本大学文学部 准教授
3	学識者	鶴嶋 俊彦	ツルシマ トシヒコ	肥後考古学会 副会長
4	学識者	渡辺 智恵美	ワタナベ チエミ	別府大学文学部 教授
5	学識者 （議会）	田島 幸治	タシマ ユキハル	熊本市議会教育市民委員会 委員長
6	学識者	池上 直樹	イケガミ ナオキ	御船町恐竜博物館 主任 学芸員
7	社会教育	早田 章子	ハヤタ アキコ	熊本県立美術館 館長
8	社会教育	松永 築	マツナガ キズク	熊本県博物館ネットワーク センター 所長
9	一般公募	日高 未佳子	ヒダカ ミカコ	公募委員
10	一般公募	水洗 美津代	ミズアライ ミズヨ	公募委員
11	家庭教育	清田 晃子	キヨタ アキコ	熊本市PTA協議会 常 任理事
12	学校教育	坂田 孝久	サカタ タカヒサ	鹿南中学校 校長
13	学校教育	太良木 香江	トラキ カエ	秋津小学校 校長